いしかわ労福協

第 619 号　2019年8月25日

発　行　所　　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　　西田　満明
編　集　人　　上野　貞彦
〒920-0024　　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

2019年度活動の推進に向けて第3回理事会を開催

労福協は、8月6日（火）フレンドパーク石川において第3回理事会を開催した。

西田満明理事長が、「6月19日開催の通常総会後の理事会以来となるが、本年度も次年度に向けて格差社会・貧困・奨学金など問題の解消・解決に向けて石川県内各自治体に対する政策要求などの取り組みについて真摯な協議をいただきたい。」と挨拶して開会した。

報告案件に先立ち、役員選出団体の異動等による理事等の交代について審議され、狩山久弥氏を理事代理に選任すると同時に副理事長に互選したほか、2名の理事と1名の監事を選任した。

報告では、すべての会員団体・地域LSCの総会等が終了したことのほか、一昨年度より取り組んでいる自主福祉運動にかかる取り組みやその他諸会議等について報告し了承された。

協議案件では、2019年度における各種団体、各種委員会の役員派遣や委員の選任を承認したほか、例年実施している自治体要請、全国福祉強化キャンペーンの取り組み、17回目となる福祉グラウンド・ゴルフ中央大会や子育て支援行事の開催、関係団体の諸会議等への参画について審議され、すべて提案通り承認した。

石川県をはじめとする県内各自治体の来年度政策に対する要請では、ここ数年来の要請でもある国の奨学金制度の改善、教育の機会均等・貧困対策などの格差・貧困対策事項のほか、消費者保護の観点からの各種対策への対応・食品ロス削減等のフードバンク活動の理解と支援、大規模災害に対する備えの充実などに加え、新たにSDGsの達成、ディーセントワークの実現とワークライフバランス推進、水道法の改正に伴う受益者本位の水道事業体制強化が追加された。

新たな役員：狩山久弥、船塚俊克、宮澤裕二（以上理事）
高橋徹（監事）

辞任した役員：柚木光氏、宮下亮氏、後本康裕氏、幸田健太郎氏

各委員会の構成

＜労福協人事委員会＞

委員長	西田　満明	労福協理事長、連合石川会長
委　員	狩山　久弥	労福協副理事長、北陸労金理事長
委　員	光林　邦彦	労福協副理事長、こくみん共済coop石川推進本部本部長
委　員	渡邊　雅人	労福協理事、連合石川事務局長
委　員	髙井　哲郎	労福協理事、連合石川副会長
委　員	野村　昇司	労福協理事、連合石川副会長
委　員	中川　　博	労福協専務理事

＜福祉基金管理委員会＞

委員長	西田　満明	労福協理事長、連合石川会長
委　員	渡辺　　駿	石川県商工労働部労働企画課長
委　員	村田　昌人	金沢市経済局労働政策課長
委　員	狩山　久弥	労福協副理事長、北陸労金理事長
委　員	光林　邦彦	労福協副理事長、こくみん共済coop石川推進本部本部長
委　員	船塚　俊克	労福協理事、労信協理事長
委　員	長谷川隆史	労福協理事、県生協連会長理事
委　員	渡邊　雅人	労福協理事、連合石川事務局長
委　員	中川　　博	労福協専務理事
事務局	上野　貞彦	労福協事務局長

＜事業団体連絡会議＞

委　員	高橋　　徹	労福協監事、北陸労金営業推進部次長
委　員	宮澤　裕二	労福協理事、こくみん共済coop石川推進本部事務局長
委　員	久冨　象二	労信協専務理事
委　員	堀口　亮一	県生協連専務理事
委　員	福村　　滋	勤体協事務局長
委　員	鈴木　隆史	労福協理事、勤文協事務局長
委　員	宅本　門示	労福協理事、さわやかU事務局長
委　員	中川　　博	労福協専務理事
事務局	上野　貞彦	労福協事務局長

福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会開催

石川労福協とライフ・サポートセンターは、7月26日（金）フレンドパーク石川において「第17回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会」を開催した。

金沢市グラウンド・ゴルフ協会、県障害者スポーツ協会、北陸労働金庫と労福協・LSCから7名が出席し、大会の開催日程や開催要項を前年の大会運営状況を踏まえ、金沢市大和町の「金沢市民芸術村　大和町広場」で、10月16日（水）午前9時30分に、地域LSCと県障害者スポーツ協会からそれぞれ選抜された計270名の選手の参加で開催することを基本とし、今大会の開催実施に向けた具体的な取り組みを協議決定した。

委員からは、「昨年と同様にスムーズな進行に向けて準備をお願いしたい。後は当日の天候次第である。なお、今年も酷暑の影響もあり、健康管理には十分配慮した対応を進めていただきたい。また、今年も車上狙いの横行やカラス被害が多く出ている。」と発言があり、参加者には特に貴重品管理は厳重にお願いすることを確認した。

開催当日では、参加選手の温かいふれあいと熱い戦いを期待する。

労福協・LSC　事務局次長　田中　雄一

第17回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会

主　　催：石川労福協、ライフ・サポートセンター
共　　催：北陸労働金庫、こくみん共済coop石川推進本部、石川県障害者スポーツ協会
後　　援：金沢市グラウンド・ゴルフ協会、北國新聞社
日　　時：2019年10月16日（水）【予備日、10／23（水）】午前9時00分受付開始（小雨決行）
会　　場：金沢市大和町「金沢市民芸術村　『大和町広場』」
参加エントリー：2019年10月3日（木）午後5時、締切
エントリー対象者：地域ライフ・サポートセンターが主催する地域予選会等により地域毎に選抜された方（県内全地域で計230名、地域単位でのエントリーとなります）及び石川県障害者スポーツ協会の選抜選手（40名、協会からのエントリーとなります）
参　加　費：500円／人
当日の予定：受　　付 午前9時00分から
開 会 式 午前9時30分
競技開始 午前9時50分頃
閉 会 式 午後1時30分頃
連　絡　先：労福協ライフ・サポートセンター
電話（076）234－0010

事業団体連絡会議

労福協は、8月7日（水）2回目の事業団体連絡会議を委員全員参加で開催した。

各団体からの要請内容を説明するほか、前日開催の労福協理事会において提案した政策面での要請内容についても説明し、来年度に向けた今回の要請内容を確認した。

また、今後の要請行動については、10月4日（金）に県内各自治体への説明会を皮切りに要請行動を本格的に進めていくことを確認し、労福協、北陸労金、生協連、勤体協、勤文協の要請に加え、労信協の業況報告を添えて要請書にしたためることを決定した。

これからの行事予定

（8月25日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
8月26日	月	いしかわフードバンク・ネット設立記念フォーラム	地場産業振興センター本館
9月 3日	火	メーデー協賛 防災減災セミナー	能美市防災センター
6日	金	メーデー協賛 自然災害被害地域復興支援 現地視察（～7日）	岡山市ほか
10日	火	労福協 第6回自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
12日	木	中部労福協 第2回幹事会（～13日）	富山市
〃	〃	中部会館協 第1回幹事会	守山市
〃	〃	全国会館協 第49回定期総会（～13日）	〃
20日	金	勤文協 絵画・陶芸展（～23日）	しいのき迎賓館
23日	月・祝	食とみどり水　稲刈り	金沢市牧山町地内
24日	火	中央労福協 第4回地方労福協会議（～25日）	東京都
25日	水	中央労福協 ライフサポートセンター責任者会議	〃
28日	土	労金・金沢LSC・連合かなざわ合同 ろうきんフェスタ2019	産業展示館2号館
10月 2日	水	中部労福協 2019年度研究集会（～3日）	神戸市
4日	金	労福協 2020年度自治体要請 自治体担当者会議	フレンドパーク石川
5日	土	労福協 子育て支援事業「芋ほり体験会」	金沢市粟崎町地内

自主福祉運動の活性化会議

2017年度より連合石川、北陸労金、こくみん共済coop、労福協の４者で構成する労働者自主福祉運動活性化会議は、本年度の取り組み目標である産別単組への運動推進に対し、どこの組織においても標準となる資料と説明を提供できるよう準備を進めており、８月３日(土)輪島市すこやか研修センターにおいて開催された連合石川能登地協青年女性交流会の場において、初めてそれら資料により自主福祉運動の意義や必要性・重要性を説明した。

竹園歓連合石川能登地協事務局長のあいさつの後、渡邊雅人連合石川事務局長がマスコットキャラクター当てクイズを参加者に提供し、続いて連合石川の取り組みを紹介、労福協は中川博専務理事が、労金は高橋徹営業推進部次長が、こくみん共済coopは西端正和事業推進部長がそれぞれ順に各団体の取り組みを説明した。

参加者からのアンケートにより、「なぜ労金？なぜこくみん共済？労福協はなに？」を理解していただいたことが分かり、これまでの周知・説明の足りなさを感じるとともに取り組みの必要性を実感するスタートとなった。

中部労福協
第７回理念・歴史・リーダー養成講座

中部労福協は、８月５日(月)、６日(火)の両日、福井市「福井パレスホテル」において第７回理念・歴史・リーダー講座を74名の参加で開催した。

石川県労福協からは、渡邊雅人氏(連合石川)、高橋徹氏(北陸労金)、藤岡敏則氏(労信協)、中川博氏(労福協)の４名が参加した。

最初に井端敏之中部労福協副会長が、「2013年から毎年開催しているこの養成講座は、労福協運動の原点を振り返る良い機会であり、今後の運動に活かして欲しい。」と挨拶した。続いて、開催地の福井県労福協横山龍寛理事長が「福井労福協の主な取り組みとして、メンタルを中心とした相談事業の展開と合わせ、行政との連携による新事業を開始した。また、労福協福祉事業である労金、こくみん共済の運動がお客と業者と言われる距離感を実感しており、これを何とか克服していきたい。有意義な講座としていただきたい。」と挨拶した。

１日目は、福井県立大学経済学部教授北川太一氏と元北陸労働金庫専務理事の乙見康夫氏が講義した。北川氏は「協同組合の社会的役割」と題し、「この間、行き過ぎた規制緩和や利益(私益)のみを追求し自由な経済活動を行う新自由主義により、労働条件の悪化、企業倫理の欠如や格差・貧困問題等が残った。これを受け、先人たちが一人ひとりを大切にし、共通の利益を追求する相互扶助精神に立脚した協同組合理念の再認識が必要である。」と述べた。

また、乙見氏は「自主福祉運動を『何故』・『どうやって』支えるか」と題し、「まずは歴史に学ぶとして、18世紀にヨーロッパで誕生した協同組合の原点と日本の協同組合(共助制度)や労働者福祉事業の歴史と発展の経緯等について説明した後、『自主福祉運動の推進』は、語り合いや課題への果敢な挑戦が大切である。」と述べた。

２日目は、中央労福協講師団講師の山本幸司氏や福井労福協の北陸労働金庫、こくみん共済coop、福井県民生協の取り組み報告の後、小山正人中部労福協副会長の閉会挨拶で２日間の日程を終了した。

石川県勤労者共済生活協同組合　第 64 回通常総代会
こくみん共済 coop ＜全労済＞　第２回石川推進本部組合員代表者会議

石川県勤労者共済生活協同組合第 64 回通常総代会ならびにこくみん共済 coop ＜全労済＞第２回石川推進本部組合員代表者会議が７月 31 日（水）労済会館において、出席総代 128 名の出席で開催された。

冒頭、光林邦彦理事長は、「2018 年度は多くの『自然災害』が発生し、一連の『大規模災害』による被災受付は、2019 年３月末現在で、合計 160,574 件に達し、『過去最大規模』の被災受付件数となった。組合員の皆様に、早く『共済金』を届ける為に全力を上げる事は勿論、『安心と安全』を確保して頂く事の重要性について『情報発信』を行っていく事が必要である。

次に、全労済は創立 60 周年を節目にもっと多くの方々に親しんで頂き、愛される存在となるために、2019 年６月から新しい愛称（ブランド名）を『こくみん共済 coop』と定め、今後は、『こくみん共済 coop 石川推進本部』として、浸透を図りながら事業推進を行ってまいります。

また、『石川共済』においては、39 年前に共済事業の拠点、労働者の研修施設として建設された『労済会館』について、本日（2019 年７月 31 日）をもって『施設事業（貸室業）』を廃止する事となった。大変長い間、ご活用を頂いて来た協力団体、組合員の皆様に、心より深く感謝を申し上げます」と挨拶した。

来賓として、石川県生活環境部生活安全課長 坂井亮一氏、労福協理事長 西田満明氏、こくみん共済 coop 中部統括本部常務執行役員 高地正氏が紹介され、それぞれ祝辞を述べられた。また、労福協専務理事 中川博氏、こくみん共済 coop 指定整備工場石川県協議会会長 吉田慶二氏も紹介された。

議案審議の前に、宮鍋業務委員長より「2018 年度表彰団体」として３部門６団体を紹介し、代表して３団体に賞状と記念品贈呈が行われた。

その後、石川共済第 64 回総代会の議案審議が行われ、後本康裕専務理事より 2018 年度事業報告および剰余金処分案、2019 年度事業計画等の提案がされ、満場一致で承認された。

続いて、こくみん共済 coop ＜全労済＞第２回石川推進本部組合員代表者会議の付議事項が審議され、2018 年度活動報告では、「マイカー共済」の取り組みにおいて 2019 年１月の制度改定により新契約の目標達成率が件数で 148.50％となったことの報告がされた。また、2019 年度推進活動計画では、組合員への商品・サービスの向上のため 2019 年８月にこくみん共済と長期生命共済の制度改定が予定されていること、約 30 万口のプラス伸長の目標設定とする旨などが提案され、満場一致で承認された。

任期満了に伴う役員選挙では、理事 20 名、監事３名が選任され、第１回理事会で理事長に光林邦彦氏が重任、専務理事に宮澤裕二氏が新任し、2019 年度がスタートした。

付議事項提案終了後、今回で退任される役員より挨拶、引き続き新任役員の紹介ならびに挨拶がされ、組合員代表者会議が終了した。

＜退任役員（敬称略）＞

岡　　昭彦（北陸電力労働組合石川県支部）
森　　浩司（石川トヨタ自動車労働組合）
田野中千代子（小松能美地域 LSC）
真鍋　幸弘（JAM 東振労働組合）

海洋資源学習会

労福協・連合石川らで構成する「食とみどり水を守るいしかわネットワーク」は、7月27日(土)羽咋市柴垣海岸、千里浜レストハウスを会場に海洋資源学習会を開催した。

この学習会では、機会の少ない地引網漁を体験するとともに千里浜海岸の浸食と対策について学習した。

梅雨明け後の暑い日差しのもと、103名の参加者は、千里浜レストハウスにて、羽咋市役所の担当職員から、「日本で唯一自動車が走行できる千里浜海岸が侵食され、25年前には幅50mあった海岸が、今では35m程度と狭くなり危機的状況となった。金沢港浚渫の砂を投入するなどして養浜対策を行っているが、目に見えての効果が表れにくい。千里浜再生プロジェクトとして一人一砂運動などにより、海岸保護の活動を行っている。」と現状が講演された。

その後、同市柴垣海岸に移動し地元漁師の協力により入れた網を参加者全員で引き、スズキやタイ、アジ、キスなどが上がり、これまでにない大漁に、子どもらは歓喜し、勇んで魚を手にして、夏休みを楽しんだ。

地引網でひと汗かいた後は、参加者全員で食事を摂り、今回の活動を事故なく無事に終えた。

加賀地域LSC

『KAGA健康フェスタ2019＆よーきたまつり』

加賀地域LSCは、7月13日(土)に入居施設である「かが交流プラザさくら」で開催された『KAGA健康フェスタ2019＆よーきたまつり』に協賛団体として参加した。「キッズ向け手作りゲームで遊ぼう」の一画を担当し、イラストの魚を釣り上げるという魚釣りゲームを行いました。今年は、小さな子供たちにも簡単に釣りあげられる様に、磁石を付けた竿を用意しました。「もっと釣りたい」と言う子供たちもいて、3匹はお持ち帰り、他は池にリリースしてもらいました。保護者の方には、労福協のパンフレットを配り、活動をアピールすることが出来たと思います。

最後はみんなで輪踊りをして『KAGA健康フェスタ2019＆よーきたまつり』を終了しました。

第17回　退職前セミナー　加賀会場

加賀地域LSCは、7月27日(土)かが交流プラザさくらにて、第17回退職前セミナーを開催しました。参加者は例年より多く参加され21名の受講者となりました。

冒頭、関戸会長のあいさつの後、北陸労金・こくみん共済からの商品紹介が行われ、その後本題であります講義をスタートしました。

講義内容が「退職前セミナー」ということで、参加者は退職間近の方が多く、退職後の雇用・医療・介護保険、公的年金制度や、退職後の資産計画について学びました。似通った専門用語が多くありましたが、重要な箇所はテキストにポイントとして載っており、わかりやすくなっていたのではないでしょうか。講義終了後には個別相談が行われ、講師のウィズの社会保険労務士に話を聞きに行かれていました。参加された方にとって重要なセミナーであったのだと感じさせられました。

今後もこの様な活動を通して、ライフ・サポートセンターの活動をアピールしていきたいと思います。

加賀地域LSC　事務局長　御舘　啓太

勤　体　協

第52回石川県勤労者夏季体育大会

≪バスケットボール大会≫

7月28日・白山市若宮公園体育館

◇①IEMORI　②reYouth　③ルーザーズ

≪バスケットボール大会・男子3組≫

8月4日・津幡運動公園体育館

◇①ガリースヤング（金沢市）　②RAVE A（小松市）
　②Sakuranの家（野々市市）

≪ソフトボール金沢大会・4組≫

8月11日・金沢市営専光寺ソフトボール

◇①J－West　②尾山台BBクラブ　③県職パワーズ

≪バスケットボール大会最終日・男子4組≫

8月11日・金沢市総合体育館

◇①T家（能登）　②TSK（金沢）　③キムチーず（かほく）

≪ソフトボール金沢大会・2組≫

8月18日・金沢テクノパーク多目的広場

◇①茶虎会　②ドーベルマン　③越野緑園カインズ

≪ソフトバレーボール津幡大会≫

8月18日・津幡運動公園体育館

◇混合フリー　A組　①スカイホークスA　② Rover
　B組　①イーストパープルB
　②笠野ロケット団
◇混合160歳以上　A組　①たけし　②ドラゴンマジック
　B組　①ゆめまるA　②QUATONE－B
◇混合200歳以上　A組　①EASYZ－B　②スタークラブ
　B組　① 弥生ソフトバレー　②Shine
◇混合240歳以上　①ゆめまるB　②伏見台SVC－B
◇女子140歳以上　①つばた南SVC－B　②ＯＡＫ